

①事業の基礎情報

事業名	生涯スポーツ推進事業				担当部・グループ名	こども未来部 文化スポーツグループ				
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名	鈴木 明美				
新規・継続の別	継続事業				電話番号(内線)	52-1111(内線 300)				
総合計画(基本計画)体系	個別目標	(3)人と学びの輪を広げ、まちのチカラを育みます				予算・事業上の 予 算 書 上 の 予 算 名	款	10款 教育費		
	こんなことに取り組みます	誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーションの機会をつくり、市民交流の場を充実します。					項	6項 保健体育費		
							目	2目 生涯スポーツ費		
	みんな目指すまちづくり指標名	—					事業名	1 生涯スポーツ推進事業		
現状値(H25)	—	実績値(H26)	—	実績値(H27)	—	実績値(H28)	—	目標値(H29)	—	(単位)
総合戦略						□該当する ■該当しない				

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	★様々な市民がスポーツに親しむことのできるきっかけづくり、環境づくりを行い、様々な地域スポーツを通じて健やかな心と身体を育むとともに、スポーツを通じた市民交流の場を提供する。		
対象(誰・何を対象に)	市民	対象の数量	46,373 人
最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	☆子どもも大人も、初心者も熟練者も、運動が得意な人も苦手な人も、全ての市民が生涯を通じて自分たちのライフスタイルに合わせたスポーツに取り組み、スポーツを通じた交流・人材育成を図っている。 ☆地域スポーツを通じて得た経験が、市民の健やかな心と身体づくりへとつながっている。		

③事業にかかる事業費概要

平成 27 年度 (当初予算額)		決算額		主な内容		
事業費総額 (千円)		41,228	40,997	・スポーツ施設指定管理料	30,345 千円	
財源内訳	一般財源	41,048	40,840	・漕艇普及事業委託料	3,981 千円	
	特定財源	国・県支出金	—	—	・全国大会等参加奨励金	461 千円
		その他	180	157	・スポーツ施設改修工事費	1,620 千円
補助事業・単独事業の別		単独事業	単独事業	・高浜市体育協会補助金	2,000 千円	



▲第 17 回市民レガッタ大会の様子



▲第 3 回高浜市民駅伝大会の様子



▲ラジオ体操指導者講習会の様子

④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆たかはまスポーツクラブ（TSC）・体育協会・ボートクラブと協働での事業推進を行った。【ラジオ体操指導者講習会、漕艇センター利用者講習会、高浜市民レガッタ、愛知駅伝選考会、市民体育大会、高浜市民駅伝、高浜シティマラソンなど】	H27.4～ H28.3	総参加者数 5,360名
	◆全国大会参加奨励金の支給など、スポーツ大会参加の促進を行った。	H27.4～ H28.3	支給者数 43名
	◆指定管理者と協働で、各体育施設の補修・修繕等を適切に行い、市民がスポーツに親しむことのできる環境整備を行った。	H27.4～ H28.3	・五反田グランド 防球ネット改修 ・碧海グランドバ ックネット改修
	◆ニュースポーツ「ファミリーバドミントン」を通して、高浜市と碧南市のスポーツ推進委員会が交流を行った。また、一般市民の方にも体験してもらう機会を設けた。	H27.8・11	参加者数 高浜市 18名 碧南市 23名
参画・協働・ 情報共有の工夫	★スポーツクラブやボートクラブ、スポーツ推進委員会が主催の事業には職員も事務作業や準備、当日の作業に積極的に関わった。		
	★日常的に連絡を取り合うことで、事業の円滑な開催に務めた。		
進捗状況	当初に掲げた計画どおり、順調に進めることができた。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	<ul style="list-style-type: none"> ☆ スポーツに親しむきっかけを増やし、シティマラソンでは参加者が過去最高となった。 ☆ 奨励金に関しては国内だけではなく、海外で行われる大会（中学硬式野球：台湾）に対しても支給し、世界で活躍する選手のサポートができた。 ☆ 施設の改修を利用の妨げにならないよう、時期を考慮し計画的に実施することができた。 ☆ 年齢や性別を問わず、親子で楽しめるニュースポーツ「ファミリーバドミントン」を市民に認知してもらう活動ができた。 		

⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
（1）施設の問題点に対する適切な修繕 ・グランドや体育館など、市民がスポーツに親しむ場所の老朽化が進んでいるため、TSCの報告や利用者の声をふまえて適切な修繕を行う必要がある。	・今後も計画的に修繕し、平成 28 年度は、碧海グランドの大規模改修の年であるため、防球ネットの設置や、照明設備の LED 化といった工事等を進めていく。
（2）体育センターの移転に関する検討 ・体育センター機能を高浜小学校へ複合化について、どのような管理・運営方法が望ましいのかの検討が必要。	・今後の体育センターの管理・運営について、TSCとの月例会や日常の打ち合わせを通して、よりよい方法を協議する。
（3）高齢者・ファミリー向けスポーツの普及 ・ファミリーバドミントン等、年齢や性別を問わず、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの一層の普及を行い、スポーツを通して、健康の増進、市民同士のふれあいの場を提供することが必要。	・スポーツ推進委員会と連携し、年齢や性別を問わず、親子で楽しめるニュースポーツのより一層の普及を図り、スポーツに触れる機会を増やすとともに、高齢者の健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を図る。

⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに (年月)
計画(案)	◆碧海グランドの防球ネット設置、照明のLED化の工事を行う。	H29.3
	◆体育センターの施設を今後どういったかたちで維持し、市民がスポーツに親しむ場を確保すべきかを、月例会等を通してTSCと協議する。	H29.3
	◆年齢・性別を問わず気軽に楽しめるニュースポーツ体験会を実施する。	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	☆指定管理者が行う事業や委託事業に関しても、市職員が現場に積極的に関わり、準備や事業当日の事務等を支援することで、「お任せ」になってしまわないようにする。	
	☆レガッタやシティマラソンといった市をあげての行事に関しては、団体と市とがそれぞれ両者に適した事務を行い、業務のバランスを取りながら実施する。	
特記事項		